

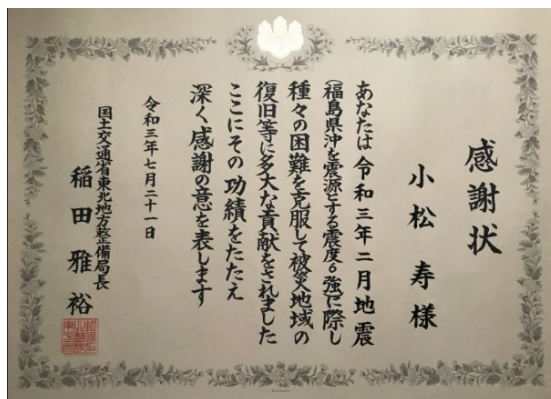


## 防災エキスパート13名の方々が 災害対策功労者として表彰されました

令和3年7月21日(水)に仙台国際センターにて国土交通行政関係功労者表彰式が行われ、災害時に防災エキスパートとして出動した以下の13名の方々の防災活動が、災害の予防・復旧に顕著な功績があったと認められ、災害対策功労者(個人)として東北地方整備局長表彰を受賞しました。



代表して表彰を受ける小松氏



贈呈された感謝状

### 受賞者一覧(敬称略)

番号	氏名	支援事務所	災害名
1	小松 寿	仙台河川国道事務所	令和3年2月地震
2	松井 幸一	仙台河川国道事務所	令和3年2月地震
3	因幡 昭義	仙台河川国道事務所	令和3年2月地震
4	槻山 敏昭	仙台河川国道事務所	令和3年2月地震
5	後村 秀樹	仙台河川国道事務所	令和3年2月地震
6	佐藤 努	山形河川国道事務所	令和2年7月豪雨
7	齊藤 明	新庄河川事務所	令和2年7月豪雨
8	荒澤 慎一	新庄河川事務所	令和2年7月豪雨
9	高橋 正志	新庄河川事務所	令和2年7月豪雨
10	近岡 信一	新庄河川事務所	令和2年7月豪雨
11	鹿摩 貞男	福島河川国道事務所	令和3年2月地震
12	中沢 重一	福島河川国道事務所	令和3年2月地震
13	佐藤 孝	月山ダム管理所	令和2年7月豪雨

## 整備局関連情報

# 令和3年度 総合防災訓練 “緊急事態宣言下における訓練”

東北地方整備局



東北地方整備局は、9月1日の「防災の日」に、平成23年に発生した東日本大震災の教訓を踏まえた「総合防災訓練」を実施しました。

令和3年度の訓練は、新型コロナウイルスによる感染急増を受けた宮城県での「緊急事態宣言」と福島県における「まん延防止等重点措置」の発出を受け、感染防止対策の徹底を図る目的から、昨年度策定した「新型コロナウイルス禍における自然災害発生に備えた災害対応(案)」に則り、マスク着用、検温・アルコール消毒液の災害対策室入室時での対応や、飛沫防止アクリル板の設置や徹底した換気等を行うとともに、災害対策室の入室者数を限定し、サテライトオフィスやWeb会議システムを活用することにより、従来であれば災害対策室に延べ100人程度が入退室する状況から、今回は本部長外の限定した幹部と各室の本部報告者等による限定した人数に抑え、概ね50人弱の入退室者に絞って行いました。



▲訓練全景（局長訓示）

また、本来であればおよそ1日を使って行う訓練も、半日に於いて実施することとし、訓練想定「フェーズ1(発災から初動1時間)」、「フェーズ2(発災から3時間後)」、「フェーズ3(発災から12時間後)」のうち、フェーズ2までの内容に絞って行いました。

その結果、当初行う予定であった東北地域づくり協会との協定や協力による「本部の代替箇所確保の要請と設営代替箇所確保要請と設営訓練」、「記者会見訓練」など協定機関や報道機関の入室を伴う訓練内容を机上において実施することとしました。

### 1. 訓練想定と重点支部

本年度は、東日本大震災からの復興が概ね完了したことから、10年間重点地域に指定していなかった福島県を対象に、訓練想定と重点事務所を設定しました。

訓練想定は、震源:福島県沖、震度:管内で最大震度6強、最大津波高さ:10mとし、重点事務所として河川対応を福島河川国道事務所、道路対応を磐城国道事務所、港湾対応を小名浜港湾事務所と指定し、本部との詳細なやりとりを想定し実施しました。

整備局 総合防災訓練

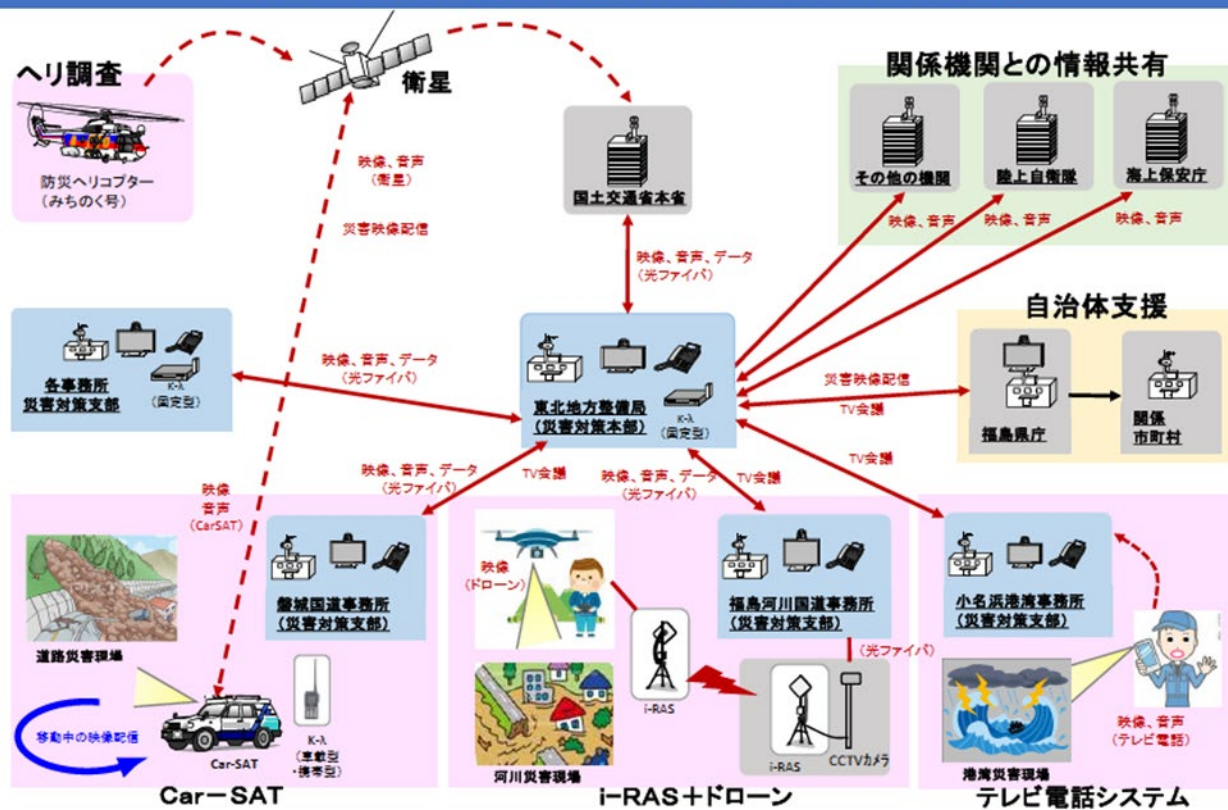
2. 主な訓練内容と今年度の特徴

主な訓練内容は、東日本大震災以降積み重ねてきた内容を中心に、①初期対応(非常電源、避難・安全確保)、②初動体制確立、③初動指示(体制確立、30分ルール、点検、情報収集)、④緊急ルート確保(道路啓開、航路啓開、緊急排水)⑤被災地支援(TEC・リエゾン派遣、災対車要請出動)、⑥本部体制確立(本部会議、本省との情報共有会議)、⑦情報発信(広報、記者会見)、⑧関係機関連携(防災エキスパート出動要請訓練等)を実施の想定をしましたが、訓練後半のものについては今回割愛をしました。ただし、重要な内容であるため、今後あらゆる場面で手順などの確認を行っていくこととしています。

今年度の訓練の特徴としては、近年のICT技術の拡大やWLB等の働き方改革に係る取組の必要性と、新型コロナウイルス感染拡大を受けた感染対策の徹底を組み込みながら災害対応を行ったことです。

内容としては、①ドローンカメラと地上通信継続機(i-RAS)を組み合わせた映像配信訓練、②本年度からの活用となる車載型全方位カメラ(Car-SAT)による映像配信訓練、③スマートフォン(Teams等)を活用した映像配信訓練、④テレビ会議システム映像共有、⑤Ku-SAT訓練(通信衛星接続)、⑥CCTV画像伝送訓練、⑦ヘリSAT(みちのく号)映像配信訓練など、多様な情報機器の活用と、サテライトオフィスの活用やWeb会議の積極的な展開など、社会から求められる要請に応えつつ、安全安心の社会の構築に向けた東北地整としての訓練を実施しました。

令和3年度 東北地方整備局 総合防災訓練 通信構成図



## 整備局 総合防災訓練

### 3. 訓練講評

訓練内容は、発災後3時間後までの想定における内容であり、従前の発災～緊急復旧までの一連の対応の評価を下していたものと比較するとやや項目が足りないものでありましたが、講評の主な内容は次の通りでした。

- 訓練全体に緊張感があつた、本番に際しても同様の対応を維持してほしい。
- 訓練はスムーズに対応ができていた、本番においても訓練同様に冷静な対応ができるようにしてほしい。
- 本番においては直轄のみでは無く、县市町村の被災状況や様々な情報が入ってくるので、それらを想定した訓練の必要性も検討してほしい。
- 関係機関、協定機関などとの訓練ができなかったので、日常的に情報の共有化や役割分担などの確認をしておいてほしい。

以上の講評の内容を受け、今後、本番に活かしていけるように取り組みを進めて参ります。



▲Car-SAT報告



▲福島支部とのテレビ会議



▲本局ヘリポートのみちのく号



▲みちのく号からの報告

## 災害対応

令和3年8月9日～ 台風9号から変わった温帯低気圧

令和3年8月11日～八戸港パナマ籍貨物船の海難

### 油流失事案における支援

東北地方整備局高瀬川河川事務所からの要請により令和3年8月13日、**防災エキスパート（2人）**が災害支援活動を実施しました。



▲破堤状況確認  
(破堤箇所の深さの調査)



▲油流出に備えたオイルフェンス  
設置箇所の調査

## 平常時活動状況

令和3年4月～7月の平常時の活動は、延べ**268人**の活動がありました。

主な活動：重要水防箇所合同巡視、徒歩点検、堤防決壊時の緊急シミュレーション、  
洪水対応演習、意見交換会 ほか



▲重要水防箇所合同巡視



▲徒歩点検(阿武隈川上流堤防)



▲洪水対応演習



▲堤防決壊時の緊急シミュレーション報告会

## 令和3年度活動状況(1)

### 【防災エキスパートとの顔合わせ、意見交換会の実施（R3年4月～8月）】

防災エキスパート活動の充実と日頃からの事務所等との連携強化を図ることを目的に、出張所単位等による顔合わせ(懇談会)や事務所毎の意見交換会が開催されています。

#### ■ 青森

開催月日：令和3年4月8日(木)～4月27日(火)  
計7回開催

会 場：青森河国管内各出張所毎 会議室等  
出席者：青森河国(河川・道路) 43名(延べ)  
防災エキスパート・事務局 26名(延べ)

主な内容

- ・出張所毎等顔合わせ(懇談会)、事業紹介
- ・要請方法・連絡体制確認
- ・各出張所管内等懸案箇所の確認

開催月日：令和3年4月15日(木)

会 場：岩木川ダム統合管理事務所 会議室  
出席者：岩木川ダム統合管理事務所 9名  
防災エキスパート・事務局 5名

主な内容

- ・顔合わせ(懇談会)、連絡体制確認
- ・津軽・浅瀬石川ダム要注意箇所の説明
- ・要請方法、オイルフェンス設置訓練指導の確認

#### ■ 宮城

開催月日：令和3年6月23日(水)

会 場：仙台河川国道事務所 会議室  
出席者：仙台河国(河)、七ヶ宿・釜房ダム 22名  
防災エキスパート・事務局 13名

主な内容

- ・事業紹介、各種行事に関する情報提供
- ・災害対応に関する意見交換(要請タイミング等)
- ・防災エキスパート経験談紹介(留意点等)

#### ■ 岩手

開催月日：令和3年6月29日(火)

会 場：岩手河川国道事務所 会議室  
出席者：岩手河川国道事務所『河川部会』 12名

防災エキスパート・事務局 13名

主な内容

- ・要請方法・連絡体制確認
- ・事業紹介、被害・復旧等に関する情報提供
- ・大規模災害時における防災エキスパートとの連携・活動についての意見交換
- ・河川関係出張所毎個別会議の実施



▲427 出張所毎顔合わせ(懇談会)  
【青森河川国道事務所 五所川原出張所】



▲415 顔合わせ(懇談会)  
【岩木川ダム統合管理事務所】



▲623 防災エキスパート意見交換会  
【仙台河川国道事務所(河川・ダム関係)】



▲629 防災エキスパート意見交換会  
【岩手河川国道事務所『河川部会』】

## 令和3年度活動状況(2)

### 【防災エキスパートとの顔合わせ、意見交換会の実施（R3年4月～8月）】

#### ■ 岩手

開催月日：令和3年7月16日(金)  
 会場：岩手河川国道事務所 会議室  
 出席者：岩手河川国道事務所『道路部会』 13名  
 防災エキスパート・事務局 17名

#### 主な内容

- ・要請方法・連絡体制確認
- ・既往災害(豪雨、スタック等)に関する情報提供
- ・災害等における防災エキスパートとの連携・活動について意見交換



▲7.16 防災エキスパート意見交換会  
【岩手河川国道事務所『道路部会』】

#### ■ 山形

開催月日：令和3年7月29日(木)  
 会場：新庄河川事務所 会議室  
 出席者：新庄河川事務所 16名  
 防災エキスパート・事務局 6名

#### 主な内容

- ・防災への取り組みに関する情報提供
- ・R2.7月豪雨の概要説明
- ・防災エキスパート経験談紹介(留意点等)



▲7.29 防災エキスパート意見交換会  
【新庄河川事務所】

#### ■ 秋田

開催月日：令和3年8月2日(月)  
 会場：湯沢河川国道事務所 会議室  
 出席者：湯沢河川国道事務所(河川) 17名  
 防災エキスパート・事務局 6名

#### 主な内容

- ・事業紹介、防災への取り組みに関する情報提供
- ・出水時等の派遣要請・業務内容について意見交換  
「支部からの要請タイミングについて」  
「各出張所の業務内容について」



▲8.2 防災エキスパート意見交換会  
【湯沢河川国道事務所(河川関係)】

#### ■ 山形

開催月日：令和3年8月11日(水)  
 会場：最上川ダム統合管理事務所 会議室  
 出席者：最上川ダム統合管理事務所 9名  
 防災エキスパート・事務局 5名

#### 主な内容

- ・業務紹介、防災行事に関する情報提供
- ・R2.7月出水の概要説明
- ・ダム管理上の課題等について意見交換



▲8.11 防災エキスパート意見交換会  
【最上川ダム統合管理事務所】

## 事務局報告

## 令和3年度 防災エキスパート新規登録者紹介

令和3年7月21日に、[防災エキスパート新会員として37名](#)の方が新たに登録されました。9月1日現在の登録者数450人、防災エキスパート所属企業協定締結法人142法人となりました。

また、災害時の広域派遣登録者も117人となり支援体制の強化も図られております。

番号	氏名	登録県	登録事務所
1	赤坂 浩	宮城	仙台河川国道
2	阿彦 桂	宮城	仙台河川国道
3	遠藤 徹	宮城	仙台河川国道
4	及川 輝浩	宮城	東北技術、仙台河川国道
5	大森 祐一	宮城	仙台河川国道、仙台東国道維持（出）
6	長内 伸夫	青森	青森河川国道、五所川原（出）、藤崎（出）、八戸（出）、岩木川ダム統合管理、浅瀬石川ダム（管）
7	小野松 輝美	宮城	仙台河川国道、北上川下流河川、名取川（出）、鹿島台（出）
8	小山 茂	宮城	仙台東国道維持（出）、古川国道維持（出）、仙台西国道維持（出）
9	亀井 督悦	宮城	仙台河川国道、石巻国道維持（出）
10	河村 明則	岩手	岩手河川国道、盛岡国道維持（出）、盛岡西国道維持（出）
11	川村 信彦	岩手	岩手河川国道、盛岡国道維持（出）、盛岡西国道維持（出）、水沢国道維持（出）、二戸国道維持（出）、三陸国道、南三陸国道
12	木村 伸一	宮城	北上下流河川
13	栗田 外美	福島	福島河川国道、郡山（出）
14	郷家 康弘	福島	福島河川国道、伏黒（出）
15	佐々木 浩幸	宮城	北上川下流河川、涌谷（出）
16	佐藤 勝美	山形	月山ダム管理、山形河川国道、寒河江（出）、南陽（出）、新庄河川、寒河江砂防（出）
17	佐藤 浩治	福島	福島河川国道、伏黒（出）、郡山（出）、吾妻山山系砂防（出）



番号	氏名	登録県	登録事務所
18	佐藤 伸吾	宮城	北上川下流河川、米谷（出）、飯野川（出）、涌谷（出）、大崎（出）、鹿島台（出）、鳴瀬（出）、吉田川緊急治水策（出）
19	佐藤 俊明	山形	酒田河川国道、酒田（出）、飽海（出）、赤川（出）、山形河川国道、寒河江（出）、新庄河川、鳥越（出）
20	鈴木 浩人	宮城	仙台河川国道、仙台東国道維持（出）、古川国道維持（出）、仙台西国道維持（出）
21	鈴木 浩	青森	青森河川国道、弘前国道維持（出）
22	高橋 長幸	宮城	仙台河川国道
23	高橋 一	宮城	仙台河川国道、岩沼（出）、角田（出）、北上川下流河川、鹿島台（出）
24	田中 隆俊	青森	青森河川国道、藤崎（出）、岩木川ダム統合（管）、浅瀬石川ダム（管）
25	蔦屋 厚	宮城	岩沼国道維持（出）、岩沼（出）、名取川（出）
26	中村 幹男	宮城	仙台河川国道
27	橋本 幸雄	福島	磐城国道、平維持（出）、原町維持（出）
28	畠山 浩晃	宮城	仙台河川国道、鳴瀬川総合開発工事
29	藤田 公典	岩手	岩手河川国道、盛岡国道維持（出）、二戸国道維持（出）、水沢国道維持（出）、盛岡西国道維持（出）
30	藤原 孝徳	山形	山形河川国道、寒河江（出）、南陽（出）、長井（出）
31	船木 仁	秋田	秋田河川国道、湯沢河川国道、能代河川国道
32	松本 孝一	宮城	仙台河川国道、北上川下流河川、東北技術
33	宮川 浩幸	宮城	仙台河川国道、仙台東国道維持（出）、気仙沼国道維持（出）、石巻国道維持（出）、岩沼国道維持（出）、古川国道維持（出）、仙台西国道維持（出）、鳴子国道維持（出）
34	森 日吉	宮城	仙台河川国道、岩沼国道維持（出）、仙台東国道維持（出）、仙台西国道維持（出）、宮城南部復興
35	矢作 浩	山形	山形河川国道、山形国道維持（出）、尾花沢国道維持（出）、寒河江国道維持（出）、新庄国道維持（出）
36	吉田 広幸	福島	郡山国道、福島河川国道、会津若松（出）、郡山（出）、福島国道維持（出）、郡山維持（出）
37	淀川 政晴	宮城	仙台河川国道



## 編集後記

7月1日より東北地域づくり協会防災技術部長に配属となりました畠山と申します。防災エキスパートの事務局を担当させていただきますので、よろしくお願いいたします。

さて、地球温暖化に伴う異常気象が言われて久しくなりますが、毎年のように「数十年に一度」や「観測史上初」と表現される大雨が発生し、大きな被害をもたらしています。

今年も8月には、台風の影響や前線の活発な活動によりお盆前から九州地方を中心に大雨となり、想像を絶する記録的な降雨量となりました。この大雨は、九州地方や中国地方を中心として大規模な災害をもたらし、東北地方においても下北半島で甚大な被害が発生しました。異常気象と言われる現象がこうも続くと、なにが異常なのか本当にわからなくなってしまう。また、市町村長が発令する「高齢者等避難」「避難指示」の発令の頻度が多くなったことから、一時期、オオカミ少年的な懸念の声もありましたが、命の危険が迫る「大雨特別警報」や「土砂災害警戒情報」が身近に感じるようになってしまい、その懸念は全く不要になったのではないのでしょうか。

「東北地方防災エキスパート」の支援活動も26年目を迎えましたが、頻発する自然災害時の支援活動に加え、平常時の活動に対しましても、防災エキスパートの皆さまへの期待は益々高まっている状況です。

一方、新型コロナウイルス感染症は未だに感染拡大を続け、社会活動に大きな影響を与えており、防災エキスパートの活動に対しましても窮屈な対応が求められている事と思います。

このような状況下ですが、防災エキスパートの皆さまのより一層のご理解とご協力をお願いするとともに、1日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願うばかりです。



### 防災エキスパート事務局

(一般社団法人東北地域づくり協会 防災技術部)

TEL : 022-268-4711

FAX : 022-227-5244

E-mail : bousai-expt@kyokai.or.jp



TDPExとは、東北地方防災エキスパート英語表記のTohoku Disaster Prevention Expertの頭文字と、矢印は「東北(T)から現地(X地点)に急行(Express)する任務」をシンボル化したものです。